



園芸福祉ふくおかネット通信 No.8



2007.1.20 発行

平成19年 新春号



園芸福祉は笑顔がいっぱい：こけ玉指導員育成講座



< 初級園芸福祉士養成講座：久留米会場（モデルガーデン実習） >

ごあいさつ

園芸福祉ふくおかネット代表 西川 直喜

明けましておめでとうございます。

昨年は予定外の催しや協力依頼が次々に舞い込んで右往左往の年になりましたが、さまざまな方々のお力添えにより無事乗り切ることができました。

なかでも行政からの依頼による催しは、いわゆる「協働」という形で実りあるものになりました。

福岡市の「都市緑化キャンペーン」は、実行委員として参画、春と秋2回のフェアにネット会員手作りの車椅子に対応できる花壇を展示、こけ玉づくりや押し花クラフトなど多くの市民の皆さんに参加して楽しんでいただきました。また、寛ぎのコーナーとして、生のハーブティーやマンゴジュースを提供するなど会員も園芸福祉士として活躍できました。

福岡県農政部生産流通課とは「いきいき園芸講座」を県下各地で開催し、園芸福祉の啓蒙と寄せ植え実技などで好評を得ており、8会場のうちあと3箇所を残すだけになりました。

また、2005年「第22回全国都市緑化ふくおかフェア」(アイランド花どんたく)において、入場者と共に植え込み、こけ玉作りなどで盛り上がった「園芸福祉の庭」が都市公園「アイランド中央公園」の一部として整備され、その花壇部分100㎡ほどを、福岡市と管理協定を締結し、補助金を受けてネット会員の手で維持しています。

2007年度は、前述の都市緑化キャンペーンについて福岡市と打ち合わせ中です。

県とは「初級園芸福祉士養成講座」の共催、緑化センターとの「園芸福祉士の緑化講座」などの話が進行中です。昨年のように慌しくならないよう考えていますが、ほかにも訪韓行事、その他依頼事業などの打診もあります。また、初級園芸福祉士の上級資格も検討されていますので、やはりうれしい忙しさが訪れる年になりそうです。

ご協力下さいます方々をはじめ、ネット会員の皆様本年も「園芸福祉ふくおかネット」をどうぞよろしくお願いいたします。



＜園芸福祉の庭の表示板と作業を楽しむ会員＞

目次

ごあいさつ	1
いきいき園芸講座	2
初級園芸福祉士養成講座	3
西日本短大夏期園芸福祉プログラム	4
活動報告	4
事務局よりお知らせ(総会)	6

いきいき園芸講座 (福岡県との連携活動)

～ いきいき園芸講座を開催して ～

福岡県農政部生産流通課 野口 容子



福岡県では、花の持つ様々な効用を紹介する「いきいき園芸講座」を、園芸福祉ふくおかネットの皆様のご協力により開催しました。

講座に参加していただいた皆さんが、一緒に花や土と触れあうことで会話が弾み、いつの間にか笑顔になっていく様子を見ながら、私自身の気持ちも温かくなっていました。そして、園芸の楽しさに触れる機会をもっと広げていきたいと感じています。

最後に、園芸福祉ふくおかネットのスタッフの皆様、本当にありがとうございました。

～ しあわせを伝えるいきいき園芸講座 ～

山崎 博子

花の持つさまざまな効用を紹介する「いきいき園芸講座」も福岡市、久留米市、北九州市と5回の講座を終わり、3月に久留米市、春日市、飯塚市の3回を残すところとなりました。

この講座は、福岡県との連携活動で講演と実技指導を「園芸福祉ふくおかネット」が担当させてもらっています。「園芸福祉活動から得られるしあわせ」と題しての園芸福祉の説明と福岡での活動、講師自身の体験などを紹介する20分間ですが講演を前に徹夜に近い勉強をされた方、日頃の柔和さで語りかけた方。「和の寄せ植え」も講師の持ち味を生かしたもので花を介在させコミュニケーションを作り出しながら終始和やかでした。

この講座に参加されたかたから、積極的に勉強していきたいからとお手紙を頂いたり、12月の事例発表会に参加された方、公民館での「寄せ植え」講座に講師として参加するなど確かな広がりを見せています。

また、JA 久留米の龍さんのご協力で、NHK ラジオや日本農業新聞に取り上げていただきました。県の広報番組としてテレビでも放映されました。



<和の寄せ植え:福岡会場>



<テレビ取材があった:北九州市八幡会場>



初級園芸福祉士養成講座

～ 養成講座を開催して ～

栗木トシ子

あけましておめでとうございます。皆様にはご家族おそろいですがすがしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

園芸福祉ふくおかネットも3年目を迎え、今では「園芸福祉」を目に、耳にする日が多くなりつつあります。それも皆様のご活躍があったからだと思えます。昨年10月、11月に久留米市田主丸町で始めて初級園芸福祉士養成講座を行いました。

仲間作りをしたいと思い久留米市で講座をお願いしたのですが、受講者が思うように集まりません。色々な所にチラシを持って行ったり、他の会議に出席した折も皆さんにお願いしました。受講生は集まらず気はあせるばかりです。久留米市近郊の園芸福祉士の方々と何度も話し合いを重ねました。田主丸での講座という事で何か背中に重い物がのしかかっているみたいで数ヶ月大変でした。新聞や広報誌にも載せて頂きました。

9月になると「広報誌を見ました」「誰にでも受講できますか」など、色々問い合わせが来るようになりました。40名の定員にはまだまだでしたが、当日は29名の方に受講していただきました。遠くは、鹿児島県、長崎県など九州各県から受講していただきありがとうございました。講座会場として緑豊かな田主丸町の県緑化センターは1番の会場だったと思えます。モデルガーデンも今までにない広さの中に、5つのテーマでみごとなモデルガーデンが出来上がりました。スタッフの方に花壇の枠材料(廃材を利用して)を古賀市から運んで組み立てたり、土作りをしていただきました。皆様のアイデアは素晴らしいもので、これこそ園芸福祉ではないかと思いました。

この講座によって園芸福祉ふくおかネットに、17名の方が会員になっていただき仲間が多くなりうれしいです。4日間でしたが大変勉強になりました。今回受講していただきました皆様、スタッフとしてがんばっていただきました皆様ありがとうございました。

まだまだ沢山の課題が山積されていると思えますが、1つ1つ皆様と話し合い園芸福祉士として何か手助けをしながらがんばっていきたいと思えます。

今年も皆様のご健康とご活躍をお祈りしております。

受講生を季節の花がお出迎え





～ 養成講座のスタッフとして ～

中村 真奈恵

昨年の秋、田主丸で行われた養成講座にスタッフとして参加しました。初めてのことで他のスタッフの皆さんについていくという感じでした。会場に植物を飾ったり、ハーブティーなどを準備したりして、受講生の皆さんを迎えました。講座終了後、普及協会の大野事務局長より「いろいろな会場を回ったけど、今年度一番元気の良い会場だった」と言ってもらえました。自分一人のできる事は小さくても、みんなで力を合わせるとすごい事ができるんだなあ～とこの講座を終えて思いました。

西日本短期大学 社会福祉学科の夏期「園芸福祉」プログラム

造・縁・学のすすめ ～ 緑が取り持つ人の縁 ～

西日本短期大学 助教授 黒木 邦弘

「ふくおかネット」とのご縁は、本学の岡本均教授からはじまりました。このご縁は介護福祉士を学ぶ学生に繋がりました。介護実習は、そこで出会った福祉サービス利用者との関わりによって自分自身の未熟さを知り、励まされ、専門職として成長する場です。実習施設で園芸福祉に実際に取り組んだ学生は、緑が取り持つ縁とネットの皆さんの姿を見て、緑の力、ボランティアの役割、そして各々が心強いパートナーであることを実感しました。学生時代に皆さんと知り合えたことが、園芸福祉の普及に繋がっていくと信じています。



活動報告

～ 子どもたちと「じいじ・ばあば」が一緒に楽しむ花壇 ～

青崎 安孝



古賀市立東小学校内の一軒家に開設してある介護予防施設の「えんがわくらぶ」から、園芸福祉の花壇を作りたいので手伝って欲しい、と要請がありました。10月10日ふくおかネットから山崎・黒瀬さんに応援頂き、午前は園芸福祉について勉強、午後から花壇予定地を眺めながら、悩んだ末にきまったのが表題の花壇です。11月20日東京からのビデオ取材の中で、本当に子どもたちが喜びそうな花壇が完成しました。花壇と共に、インタビューに対する黒瀬さんの素晴らしい解説を是非皆さんにご披露したいと思っております。

～ 身土不二にのっとり・・・～

井本 耕太郎

皆さんいかがお過ごしでしょうか。

師走のせまったころ、野菜の収穫、畑の整地、片付け・・・等の農作業をすませ、年間の納めとしました。収穫した元気野菜は年末年始の我が家の食卓で頑張っております。感謝！！活動の場所は、やまびこ農園（三瀬村）、具座農園（三瀬村）、ベジタブル農園難波（城南区、自宅の側、勝手に名付ける）の三ヶ所、百姓の真似事をしだして三年経過、少しは様になってきたようですが、まだまだ満足のいくものではありません。

農薬、化学肥料を使わない有機農法に取りくんでいます（自然農法にも興味あります）。土作りと虫、雑草との戦いでもあります。季節ごとに作付けできるものはなんでもと心がけております。三ヶ所あると同じ野菜を育てても、育ち具合、虫のつき方、色、形、味と少しずつ異なるような気がします（条件面でいろいろあると思われる）。作付け前の耕地、種蒔き、育苗・・・等の管理により週に3～4日は作業に時間をとられ忙しい日が続くときもあります（季節、天候、タイミング・・・等）。佐賀市三瀬村は標高400～450mに位置し、空気のとってもしおいしい所です。週に1～2回は行っており、農園（2ヶ所）や他の場所で農家の方々との交流も楽しみであり、勉強になることが多くあります。なによりも世の中のごたごたやストレスが全然なくいつも元気をもらっております。農園での行事、三瀬村のイベントにはできるだけ参加しております。たまには農家民宿をして農作業を手伝うこともあります。

私と三瀬、野菜作りのキッカケは、安心、安全な食材を探すことから始まり、当初はなるべく産地に近い所で取れ立てのものを購入するよう心がけていました・・・そのうち・・・自分で作るほうが確かが一番安心できると納得し、始めてから現在に至っております。身土不二にのっとり・・・「地元で」「季節のものを」「直接手に入れる」ことをこれからも続けていきたいと思っております。

～ 花と緑と私とネット～

黒瀬 恵子

花が好きで、庭仕事を始めると、ついつい夢中になって時間の経つのも忘れ、慌てて夕飯の支度をすることもあります。外から疲れて帰ってきた時や気持ちの晴れない時も、庭に出て好きな花を見ているだけで自然と心が和み癒されます。ピンクや白、青や紫の可愛い花が好きで、素敵な空間をつくってくれる家の周りにある木々は、樹形や木肌の美しいもの、風にそよぐもの、香りのするもの、小鳥の来るもの、花や実を楽しむものなど、ヤブツバキやモミジは我が家の庭に根を下ろして30年近くなります。花や木のほかに野菜も育てていますが、これは、ままご程度です。それでも、化学肥料や農薬は使わず有機肥料で育て、台所の生ゴミや落ち葉も堆肥づくりに使っています。

昨年はジャガ芋やニンジン、シソ、ニラ、ミョウガ、キュウリ、ゴーヤ、サトイモなど収穫できました。中でも、ゴーヤは食べきれないほど沢山出来、お友達にあげることもできましたし、サトイモは掘りたてを、お正月のガメ煮に使いましたが、久々に会う親や兄弟からも好評でした。30年前から始めた花や緑を育てることは、日々の私の生活にすっかり溶け込んでいます。花を育てることは、我が家の庭だけでなく近くの小学校でも、花壇のボランティアとして行っています。地域の方と行うこの活動も、早いもので、もう、10年になります。

2003年12月から2004年1月にかけて、福岡の地で初めて初級園芸福祉士養成講座が開催されました。友人からの勧めで受講したことがきっかけとなり、結局、ネットの設立当初から係わることになりました。現在も人生の先輩方の中で、いろいろと教えて頂きながら楽しくやっております。ネットに携わるようになって忙しくはなりましたが、勉強させて頂くことが多く、とても充実しています。周りの方から「いきいきしてる」とか「楽しそう」とかよく言われます。

外に向かって「園芸福祉の普及」とか言っていますが、言っている私が一番楽しんでいるように思えます。今年も笑顔忘れず、微力ながらお手伝いさせていただきたいと思っております。

どうぞ、宜しくお願い致します。



事務局よりお知らせ

「第4回総会」を「ボランティア交流センターあすみん」で開催いたします。

- ・日時：2月17日(土) 11時から受付、 総会：11時30分 ～ 13時30分
 - ・場所：福岡市中央区大名2丁目6-46 福岡市NPOボランティア交流センター「あすみん」
- *昼食を済ませてご出席ください。なお、総会終了後に交流会を予定しています。

- ・ネットの運営委員会は、「あすみん」で、毎月第三土曜日午後3時からです。



< 編集後記 >

ネット通信の編集に携わり思うことは、ネットの組織が出来て3年ほどなのに活動が県や幾つかの市などと協働するなど拡充して、会員が園芸福祉ふくおかネットに注ぐエネルギーは半端ではないことと各々の得意とする分野で自らをアピールしながら十分楽しんでいるということです。

ネット通信に寄せていただいた原稿や写真を如何におさまり良く綺麗に、読みやすく仕上げようかと思案のうちに夜も更けていきます。園芸福祉ふくおかネットの一員であることに幸せ

< 西方沖地震避難住宅で花苗植付け > を感じつつキーボードに向かっていきます。 (谷口)



< 福岡市男女共同参画推進センター アミカスの玄関花壇を綺麗にしました >

園芸福祉活動や感想、体験記、写真などをお寄せください。

園芸福祉ふくおかネット事務局

E-mail : engeifukusi.fukuoka@jcom.home.ne.jp

電話 : 090-9567-2704 (山崎)

FAX : 092-542-8214

園 芸 福 祉 ふ く お か ネ ッ ト 通 信

発行 園 芸 福 祉 ふ く お か ネ ッ ト 事 務 局
代 表 西 川 直 喜

編 集 谷 口 博 隆